

## JCM 設備補助事業ジェンダー・ガイドライン

### 1. 趣旨

JCM 設備補助事業はパートナー国への優れた脱炭素技術等の普及を通じ、地球規模での気候変動の緩和に貢献するとともに、パートナー国の持続可能な開発に貢献することを通じて、国連の持続可能な開発目標（SDGs）の達成及びジェンダー平等（Gender Equality）の実現を目指している。

一方、天然資源などへのアクセス、環境に関する計画や施策等あらゆるレベルでの意思決定過程への参画、社会的経済的な便益やサービスを享受する際のジェンダーギャップの存在が、気候変動緩和策の効果をも低減し、持続可能な開発や SDGs の達成を阻害しているということが認識されつつある。

本ガイドラインは、このような状況を踏まえ JCM 設備補助事業のプロジェクトサイクル（立案、実施、稼働の段階）において、ジェンダー平等を実現するために求められる行動を示すことにより、プロジェクトの関係者、とりわけ JCM 設備補助事業の実施主体である代表事業者、共同事業者に対し、本ガイドラインに沿ってジェンダー平等に向けた行動を促すものである。尚、JCM 設備補助事業とジェンダー平等との関わりはプロジェクト毎に様々であることから、ガイドラインの適用に際しては、個々のプロジェクトの特性に応じて可能な範囲で対応を行うものとする。

### 2. ジェンダー平等にかかる基本的な考え方

#### ① 女性のエンパワメントの促進

事業実施による恩恵（例：無電化地域への電力供給、また用地買収等による補償等）が、女性の雇用機会創出や収入の向上、女性の起業や事業拡大の推進、女性の教育機会の増加、生産性の向上に繋がるよう配慮する。また事業実施に携わる企業において、職業訓練や教育、および女性に配慮した労働環境整備等その他の支援を通じて、女性がより活躍できる環境づくりに配慮する。

#### ② ジェンダーバランスの取れた意思決定プロセス

女性が気候変動やその対策に関する情報に接する機会を保障し、プロジェクトにおける住民合意形成時等の意思決定過程に参加できるように配慮する。また、プロジェクトの実施段階において必要となる諸元の検討においても、女性もリーダーシップを発揮しやすいよう、ジェンダーバランスに配慮した検討の場の設置等に配慮する。

#### ③ 女性の健康と生活水準の向上

事業実施を通じて女性の健康（例：汚染された大気や水からの被害の低下等）、女性の安全（例：街灯設置、衛生設備の整備、交通機関の改善）、経済的・身体的負担の軽減（電力料金等エネルギー関連支出の低下、上下水道の整備や高効率調理機器の設置等による家事負担の軽減等）などを通じ、女性がより健康的で水準の高い生活を送れるよう配慮する。

### 3. JCM 設備補助事業の各段階での対応事項

#### 1) プロジェクトの立案段階におけるジェンダー課題への対応

プロジェクト自体が女性の労働力の活用と高度化等、女性のエンパワメントの促進に繋がるかどうかを検討する、また、プロジェクトの実施地域において、どのようなジェンダー課題があるのかを検討し、対応方策を組み込んだプロジェクトの計画立案を行う。また、プロジェクトの各段階における意思決定プロセスに、ジェンダーバランスを取り入れる。プロジェクト実施国及び地域におけるジェンダー課題に関する政策や取組方針がある場合には、それを参照するなどしてなるべく取り入れるよう検討する。

#### 2) プロジェクト実施段階でのジェンダー課題への対応

プロジェクトの実施に際して、女性の雇用、女性が働きやすい体制づくり、女性リーダーの登用、また女性への教育訓練を促進するようにする。また、周辺住民との合意形成時に、女性の意見を取り入れるようにし、用地買収時の立ち退き等の際に、女性が補償の面等で不当な扱いを受けないようにする。

#### 3) 施設稼働時におけるジェンダー課題への対応

施設の稼働に必要な人員に対する女性の雇用、特に女性管理職や女性技術者の積極的雇用および女性への教育訓練が促進されるようにする。また、周辺住民とのステークホルダー会合等に、女性が参加し発言できるようにすることで、地域の女性にも利益が還元されるようにする。

#### 4) ジェンダー課題への対応についての情報発信

プロジェクトを通じて、ジェンダー課題の解決に向けて実施した対応や成果、課題等を整理して情報発信を行う。また、施設稼働後も継続的な行動（女性の雇用、女性への教育訓練、意思決定プロセスへの女性の参画等）が行われているか定期的に確認を行う。

## 参考文献

Committee on the Elimination of Discrimination against Women. *General recommendation on No.37 on gender-related dimensions of disaster risk reduction in the context of climate change*. 2018

Global Environment Facility. GUIDELINES ON GENDER EQUALITY. 2018

Global Environment Facility. *Policy on gender equality*. 2017

2017

Green Climate Fund. *Updated gender policy and gender action plan 2020-2023*. 2019

Green Climate Fund, United Nations Women. *Mainstreaming gender in Green Climate Fund projects*.

United Nations Framework Convention on Climate Change. *Gender action plan*. 2019

United Nations Industrial Development Organization. *Guide on gender mainstreaming: Energy and climate change projects*. 2014

United Nations Framework Convention on Climate Change. *Paris Agreement*. 2015

United Nations Women. *Leveraging co-benefits between gender equality and climate action for sustainable development*. 2016